



農業委員会 だより

第 7 号

平成24年2月
編集・発行
佐野市農業委員会
佐野市田沼町974-1
TEL 0283(61)1151



農業委員会総会



鳥獣害対策研究部会



経営安定対策研究部会



耕作放棄対策研究部会

— 主 な 内 容 —

- ◇会長あいさつ・講演会報告…………… 2 P
- ◇研究部会の活動報告…………… 3～5、8 P
- ◇新農業委員紹介…………… 6、7 P
- ◇市・県に建議要望…………… 9 P
- ◇新規就農者の紹介…………… 10 P
- ◇農業年金に加入しましょう…………… 11 P
- ◇農業公社からのお知らせ・編集後記… 12 P

農業委員が変わりました。

農業委員会は、法律により市町村に置かれる機関であつて、その役目は①市から独立した行政機関として農地法に基づく処分等を行うこと②農業や農家の代表として関係行政庁に意見や答申をする機関です。その農業委員の任期満了に伴い、昨年7月農業委員改選が行われ新しい農業委員が選出されました。内訳は、選挙による委員20名、農協・農業共済組合・土地改良区および議会推薦委員7名の計27名です。(6,7ページに紹介記事掲載)

農業委員会会長あいさつ

佐野市農業委員会 会長 桂 正次

昨年7月の農業委員改選により会長に就任しました。

冒頭に昨年3月11日に発生した東日本大震災により多くの人命が失われ、被災された皆様からのお見舞い申し上げます。

住宅をはじめ農業施設・設備への被害を受け、さらに原子力発電所の事故により、農地や農畜産物への放射能汚染が広がり、間もなく一年になるうとしていますが、いまだ収束が見通せません。

この被災復興の一環として、「仙台イチゴ」の名で東北一のイチゴ生産量を誇っている宮城県J Aみやぎ亘理（亘理町、山元町）へ本県からイチゴ苗約51万本を無償提供し（本市も含む）、農業災害の復旧の一役を担い、大変喜ばれました。

野田首相は、昨年11月13日APEC首脳会議で環太平洋連携協定（TPP）への交渉参加に

向け、関係国と協議に入ること

を表明しました。一方、農業団体は政府方針を実質的交渉参加への宣言とみて、相次いで抗議

声明を発表しました。全国農業会議所は、昨年12月7日全国農業委員会会長代表者集会を開催し、①東日本大震災からの復興、②TPP交渉参加撤回を求める要請等を決議しました。終了後、栃木県農業会議では、県独自要請活動を実施し、県選出衆参両議員に要請

を行いました。今後の推移を見極めたいと思います。本市では農地法等に係る許可権限等が知事から委譲され、農業委員会の役割がますます重要となっており、務遂行に万全を期したいと思います。

今後とも、農業委員会活動にご協力をお願いいたします。

「農業講演会」に参加して

佐野市農業委員会 会長職務代理者 小堀 幸雄



高橋勝泰氏

心に多数出席し、会場は満席、132名の参加者でした。また内容も毎日のように新聞紙上で話題になっっている農業の柱となる問題だけに皆熱心に聞き入っていました。

今後の農業が大きく変わるようなTPP問題を解りやすく理解しやすい講演でした。

また、講演会終了後、各種団体者との情報交換会も行われました。

去る1月30日（月）、マリアージュ仙水（奈良刈町）において、市長の主催者挨拶の後、栃木県農業協同組合中央会専務理事高橋勝泰氏を迎え、農業講演会を開催し、「最近の農業を取り巻く状況について〜TPP・原発事故にどう対応すべきか〜」について、熱弁を奮っていただきました。講演会は参加者として農業再生協議会・認定農業者協議会・農業委員会主催団体を中



熱心に聞き入る参加者

有害鳥獣捕獲の現地研修会を開催

鳥獣害対策研究部会 部会長 尾花 收

鳥獣害対策研究部会では、昨年12月20日に部会を開催し、農山村振興課の協力で戸室町フェンス設置現地研修を行いました。担当職員の説明では、フェンスの周りをきれいにしておく、イノシシが警戒して来なくなるといったことです。またフェンスにはイノシシが飛び越えない、地面を掘らないように工夫がしてあります。



現地研修を受ける農業委員

午後には、わな猟研修会に参加しました。講義では、わなの種類と使い分けについて、講師の県環境森林部自然環境課の松田奈帆子さんをお迎えして、「箱わな」と「くくりわな」の違い、設置の方法、どちらを使えばよいか、安全性、わなの費用、捕獲効率、捕れたイノシシの年齢、わなの設置のイメージなど、スライドを見ながら説明を受けました。実習では、県猟友会安蘇支部の黒沼貞夫さんと飯田太郎さんの二人を講師にお迎えして、山形町の山林で、猟道の探し方、くくりわなの仕掛け方、箱わなを被害場所周辺に設置し、エサで誘って捕る方法等の実習を受けました。くくりわなは大きいイノシシが捕獲できる、また移動が大変だけど箱わなは一度に何頭も捕獲できるなどいろいろ参

考になりました。

私の家でも二、三年前からジャガイモやサツマイモの畑が荒らされていましたが、イノシシの被害であることに気づき、他人任せではなく、自分でもなんとか協力できないかとわな猟の免許を取りました。所属する赤見部会は、グループでわな掛けをしています。毎朝の見回りはつらいですが、今日はイノシシが掛かっているか楽しみに出かけて行きます。見回りが終わると集合して、今日は空振りとか二アミスとか話し合います。最



くくりわなの設置

近のイノシシは学習能力が高く、人間との知恵比べの毎日です。

電気柵やフェンス、防獣ネットなどさまざまな防止対策をしていますが獣害等の被害が収まりません。最近、サル、ハクビシンなど平地でも見かけると聞きます。頭数を減らす「駆除」は狩猟免許が必要です。ぜひ狩猟免許を取得してください。地域ぐるみで耕作放棄地などの整備をして、獣を人家や農地に近付けさせないよう被害対策が必要です。



箱わなの設置

耕作放棄地解消に向けて

耕作放棄対策研究部会 部会長 秋山 清

耕作放棄地解消に向けて、昨年10月に地元の協力員の案内で、農地利用状況調査・耕作放棄地全体調査が実施されました。

調査により一つ気にかかる事がありました。山間部の沢田に、農地として復元不可能な土地が集中している事です。原因を考えてみますと、山間



部には湿田も多く日照時間も短いことから、麦、大豆、そばなども種を播いても生育できず、転作もできない農地であることです。さらに、田一筆ごとの面積が小さく、湿田が多いことから機械による作業効率が低いということなどが原因ではないでしょうか。

若者が都会に出てしまい、



農地パトロールをする委員・協力員等

高齢化が進み、結果として不在地主となり、耕作放棄地が多くなっています。耕作放棄地による弊害は多く、パトロール中に出会った主婦は「電気柵を設置したが、効果がなく、年々イノシシの被害がひどくなり、今年はコンバインで収穫できずに手刈りをした」と嘆いていました。この様に有害鳥獣の隠れ場所になり、病害虫の発生源になります。また、冬には枯草によつて火災発生の原因にもなります。

平成21年12月の改正農地法の施行を受け、法人の農地の貸し借りが容易になり、土地の集約化が進み、これからの放棄地の増加に歯止めがかかればと思つていきます。

調査で把握した耕作放棄地については、地主の方に直接連絡し、遊休農地の解消、有効利用に向けた指導をしていきますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

農業青色申告のすすめ

佐野市農業青色申告会では、会員を対象に各種申告書類の書き方・提出について講習会や相談会を開催しております。

新たな会員を募集しています。申し込みは佐野市農業青色申告会事務局へ（農業委員会事務局内）

電話 61-1151

営農・生活に役立つ

農業総合専門誌。



を読みましょう！

購読申し込みは

農業委員会事務局

又は地元農業委員へ

平成23年度耕作放棄地全体調査結果

耕作放棄地全体調査における佐野市の耕作放棄地は、全体で2,333筆、139.4haでした。内訳は、佐野地区822筆、46.6ha、田沼地区1,277筆、78.4ha、葛生地区234筆、14.4haです。

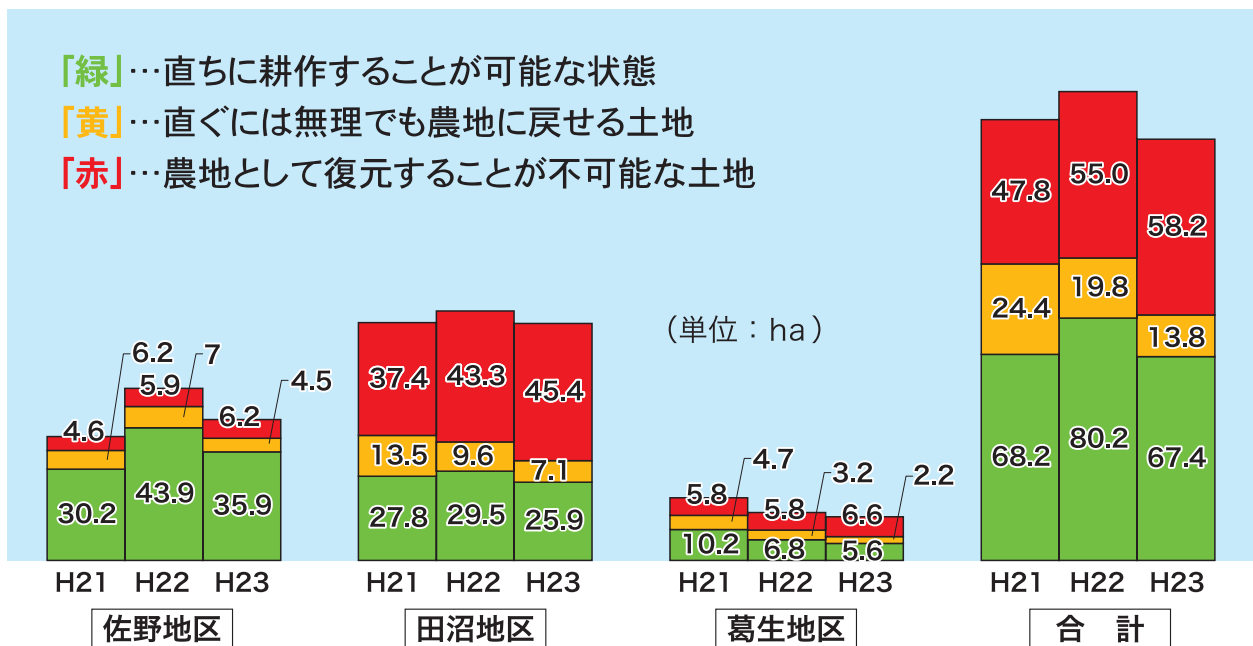
【緑】と色分けされたものは、67.4haで、耕作放棄地全体の48.4%で、内訳は佐野地区35.9ha、田沼地区25.9ha、葛生地区5.6haです。

【黄】と色分けされたものは、13.8haで、耕作放棄地全体の9.9%で、内訳は佐野地区4.5ha、田沼地区7.1ha、葛生地区2.2haです。

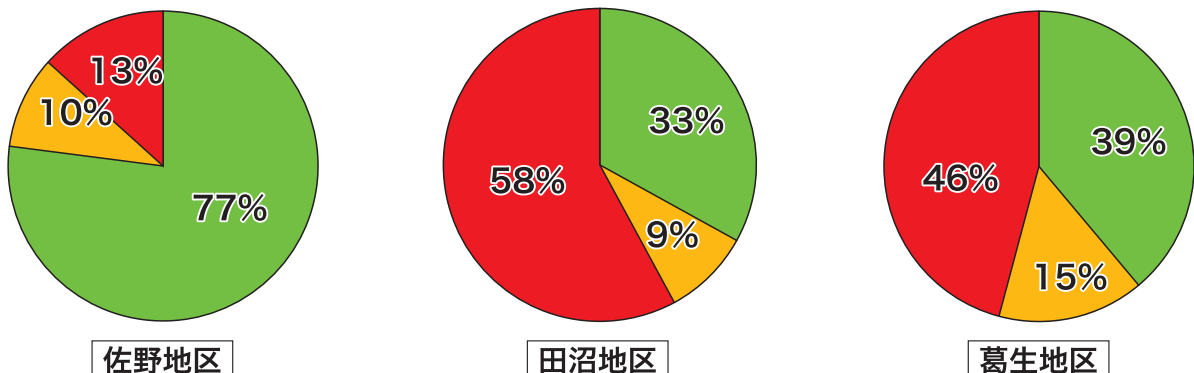
【赤】と色分けされたものは、58.2haで、耕作放棄地全体の41.7%で、内訳は佐野地区6.2ha、田沼地区45.4ha、葛生地区6.6haです。

昨年度の調査と比較しますと、全体で15.6ha減少しました。内訳では、**【緑】**が12.8ha、**【黄】**が6ha減少し、**【赤】**が3.2ha増加しました。

1 年度別推移



2 地区別 (平成23年度)



新 農業委員紹介

- ①住所地
- ②電話番号
- ③担当地区
- ④所属部会

第1選挙区



尾花 収

- ①出流原町
- ②25-0170
- ③赤見地区
- ④鳥獣害対策部会

中山間地の鳥獣害の被害が多く、農地を守るために、少しでも役に立つよう頑張ります。



山根令恵二

- ①並木町
- ②22-3937
- ③旗川地区
- ④耕作放棄対策部会

耕作放棄地の解消と優良農地の確保及び地域農業の安定と活性化に努力したいと考えております。



志賀喜一

- ①赤見町
- ②25-0988
- ③赤見地区
- ④経営安定対策部会

地域の皆様方と多く意見を交わし取り入れ、農業経営全般の最善発展のために努力したい。



長竹義久

- ①赤見町
- ②25-2558
- ③赤見地区
- ④耕作放棄対策部会

耕作放棄地の解消に、担い手の育成と魅力ある農業の発展に努め、頑張つて行きたいと思っております。

第3選挙区



小堀幸雄

- ①栃本町
- ②62-1749
- ③栃本地区
- ④鳥獣害対策部会

耕作放棄地の効果的な利用を進め、担い手の育つ魅力ある農業を目指し、地域の発展に農業委員として努力します。



岩上良雄

- ①田沼町
- ②62-1106
- ③田沼・戸奈良地区
- ④経営安定対策部会

市街化地区の農業経営合理化と耕作放棄地の解消に農家と協力して前進発展に努力していきたいと思っております。

第2選挙区



竹澤 實

- ①越名町
- ②23-4633
- ③界地区
- ④経営安定対策部会

耕作放棄地調査に参加し、基盤整備の不備を痛感しました。地域内改良区と交流を密にし農地の再生に努力したい。



新井藤市

- ①伊保内町
- ②23-4326
- ③植野地区
- ④耕作放棄対策部会

地域農業者の代表として農業委員活動に頑張つていきたい。



杉山 忠

- ①富士町
- ②23-7931
- ③犬伏地区
- ④鳥獣害対策部会

地域農地が有効に活用されるよう、農地法・農振法に基づき委員としての活動に努めます。



島田一男

- ①田島町
- ②22-6096
- ③植野地区
- ④経営安定対策部会

TPP加入を断固阻止したい。仮に加入した場合の衝撃から、日本農業の再生、興隆に全力を尽くしたいと思う。



中村良一

- ①下羽田町
- ②23-4097
- ③吾妻地区
- ④耕作放棄対策部会

農業者を守り、農地を守り、地域や日本の農業を守ります。



金子 博

- ①新吉水町
- ②62-0786
- ③田沼南部地区
- ④鳥獣害対策部会

地域農業の発展のために、有効な土地利用の促進と増加傾向にある鳥獣害の対策に努めます。



秋山 清

- ①山越町
- ②62-4745
- ③田沼北部地区
- ④耕作放棄対策部会

日本の農業を破壊するTPP加盟に反対します。耕作放棄地解消等に尽力していききたいと思います。

第 5 選挙区



桂 正次

- ①葛生西
- ②85-3639
- ③葛生地区
- ④経営安定対策部会

農業、農村と農地を巡る情勢変化を踏まえ、農業委員会の活動・審議の「見える化」を図っていききたい。



立川勝美

- ①牧町
- ②84-3560
- ③常盤地区
- ④鳥獣害対策部会

耕作放棄地の解消や獣害対策に取り組み、健全な地域農業の躍進に寄与していききたい。



新井 勉

- ①中町
- ②85-3798
- ③葛生地区
- ④耕作放棄対策部会

地域農家の代表として耕作放棄地の解消、担い手の育成に努め、農業の発展に努力します。

第 4 選挙区



橋本 征洋

- ①下彦間町
- ②65-0169
- ③飛駒地区
- ④耕作放棄対策部会

中山間地の農業を守るため、担い手の育成や耕作放棄地の解消に努めたい。



青木 幸男

- ①山形町
- ②65-0276
- ③新合地区
- ④鳥獣害対策部会

耕作放棄地の解消と地域農業の活性化のためにも頑張っていきたいです。



亀田 幸平

- ①戸室町
- ②62-4176
- ③三好地区
- ④経営安定対策部会

現代の日本農業が抱える諸問題をどう打破するかを考える日々になりそうです。しかも危機感を持って。



森下 憲一

- ①長谷場町
- ②67-1035
- ③野上地区
- ④鳥獣害対策部会

中山間地域の農業の振興と発展のために、努力していきまます。

議会推薦



蓼沼 一弘

- ①仙波町
- ②85-3727
- ③水室地区
- ④鳥獣害対策部会

地域農業振興のため、農地法、農振法に基づいて、農業委員として、しっかりと働いて参ります。



林 敬忠

- ①小中町
- ②22-5370
- ③旗川地区
- ④経営安定対策部会

優良農地の確保と後継者育成等、農業の健全な発展の為に頑張りたいと思います。



篠原 一世

- ①下羽田町
- ②22-6017
- ③犬伏地区
- ④耕作放棄対策部会

農政と農業環境は乖離している現況下、農業経営の安定継続は喫緊の課題であります。魅力ある農業に汗したい。



笠原 敏夫

- ①堀米町
- ②23-4456
- ③佐野・堀米地区
- ④経営安定対策部会

厳しい農業情勢ではありますが、農政発展のため、努力してまいります。

農業共済組合推薦 農協推薦 土地改良区推薦



中島 良一

- ①君田町
- ②23-9080
- ③植野地区
- ④鳥獣害対策部会

命の糧を生産する「農業」に携わること誇りと生甲斐もてる施策の行われることに努めます。



木村 弘一

- ①高橋町
- ②23-4066
- ③吾妻地区
- ④経営安定対策部会

TPP阻止をはじめとした農政運動・地域の農業振興に努力してまいります。



寺嶋 勝豊

- ①下羽田町
- ②23-4082
- ③吾妻地区
- ④耕作放棄対策部会

地域農業の振興と持続的発展のため適正な農地行政を推進し、土地改良区代表委員として努めてまいります。

「農事組合法人MAGIファーム」 において研修会を開催

経営安定対策研究部会 部会長 桂 正次

昨年12月22日に部会の研修会を開催しました。「MAGIファーム」は、平成21年12月3日に農事組合法人MAGIファームとして誕生しました。農地調整、効率的利用等を上牧農用地利用改善団体(任意団体)が担当し、農作業、栽培管理、販売、経営所得対策加入等をMAGIファームが担当し、業務



MAGIファームでの研修



石田憲一代表

を順調に遂行しています。上牧地区も高齢化と後継者不足が進んでおり、MAGIファームが地域の担い手となつて農作業を引き受け、耕作放棄地の解消と集落機能の維持・活性化に取り組んでいます。農業生産面では、水稲・麦・そばを中心とし、ナス・トマト・キュウリ等の園芸作物の導入により収入の確保を図っています。

水稲では無人ヘリによる鉄コーティングした種子の直播や除草剤散布など生産コストの削減に取組み、法人としての経営収支確保に努めています。

また、地域全体の環境保全を考慮し、エコファーマーとして米作りをするとともに、集落の草刈りや里山保全にも積極的に関与しています。後継者不足の中にあつて、将来にわたり営農活動が継続できるよう平成22年から農業研修生3名を受け入れ、将来の育成にも力を注ぎます。



大型トラクターによる農作業



宇都宮市 栃木県教育会館にて

この活動・経営内容とも他
の模範となる組織として、今年
度の「栃木県元気な農業コン
クール」経営活性化部門で栃木
県農業協同組合中央会長賞を、
「優良担い手表彰事業」優良集
落営農の部で最優秀賞を受賞し
ました。



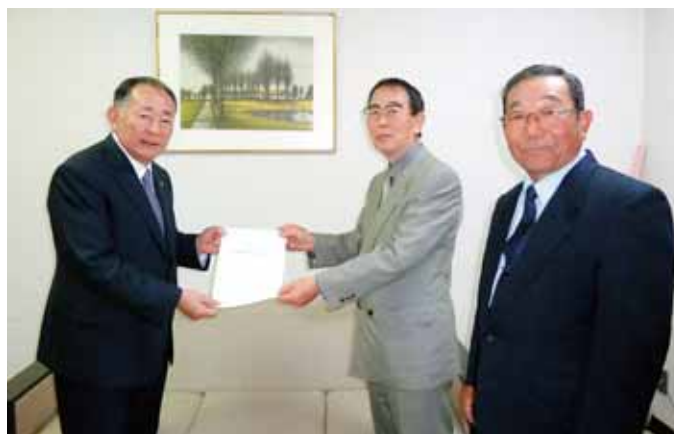
平成24年度農業施策に関する 建議・要望書を提出

農業委員会では、「平成24年度佐野市農業施策に関する建議・要望書」及び「平成24年度県農林等施策並びに予算編成に関する建議・要望」をまとめ、10月4日に岡部市長に、また、10月12日に県知事に対し、提出しました。

市長と農業委員との意見交換も行いました。

主な内容は、次のとおりです。

- 一、経営（構造）対策の推進
- 二、農業基盤の整備対策
- 三、農業生産振興対策
- 四、有害鳥獣対策
- 五、耕作放棄地対策
- 六、地産地消の推進について
- 七、その他



※詳細は市ホームページより
ご覧になります



★農地は適正に管理しましょう

耕作放棄地は、冬は枯れ草が火災原因となり、夏は病害虫等の発生の原因になり、イノシシ等有害鳥獣の隠れ場所にもなります。

★農業委員会での手続き

○農地の売買・賃貸借の申請

農地を買ったり、借りたりをするには許可が必要です。

○農地転用の許可・届出の申請

農地を農地以外にするためには許可や届出が必要です。

○農地の相続等の届出

農地を相続した場合は、届出が必要です。



各種申請は **毎月15日** が締切です（問い合わせ 農業委員会事務局 ☎61-1151）

※ 締切日は変更になることがありますので、お問い合わせください。

第3回 新しい担い手を紹介します!

「父の力 となつて」

関口麻里子さん（船津川町）



関口さんのお宅では、父の豊さんを中心に麦約6ヘクタールを経営しています。

麻里子さんは、小さなころから、苗箱運びなど簡単な農作業の手伝いをしていました。小柄でかわいい麻里子さんですが、大型のトラクターなどの農機具を使って農作業を手伝っています。20歳を過ぎてから、大型特殊・けん引（農耕車限定）の免許を取ったということです。

麦を撒いた畑を見学させていただきましたが、「今年は、寒さで麦の根まで凍ってしまい、麦の生育はまだまだ」とのことでした。

今年からは、お米の生産も再開し、野菜づくりにも挑戦したい、父の手助けをして、力になっていきたいそうです。



家族の力にと農業を始めた二人を取材しました。お二人ともこれらの佐野市の農業におおいに貢献してくれていると思います。

「自分の イチゴを作る」

関根哲也さん（小中町）



哲也さんのお宅では、祖父と、いちご2,500平方メートル、米麦を約3ヘクタール経営しています。

哲也さんは、小山高専を卒業後、千葉県や東京都で電子基板の設計などの仕事をしていました。その間も休みなどを利用して、田植えやハウスのビニール張りなど手伝いに来ていました。都会でサラリ

ーマンをしていましたが、父母などとも話し合い、自分で考えたことのできる農業を継ぐことにしました。

いちごづくりは、昨年4月から始めたばかり、これから県の農業大学校に通いながら、祖父やいちご部会の方などから教わりながら覚えていきたいとのことでした。

ハウスも案内してもらい、収穫の様子なども見せていただきました。

哲也さんは、今はまだ、先のことは考えられないが、いつかは自分の納得のいくイチゴを作れるようになりたいと話してくれました。



農業者の皆さん、老後の備えは万全ですか？



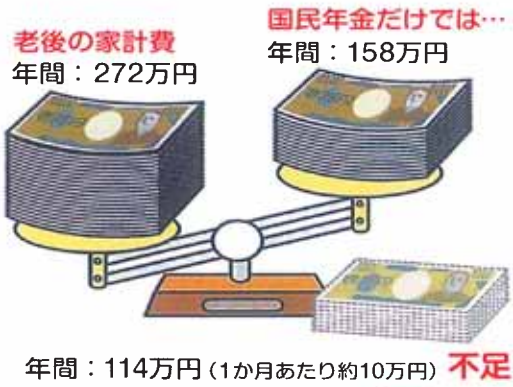
老後生活は、こんなに長い！

65歳からの平均余命は…



老後生活は、こんなにお金がかかる！

夫婦2人の場合



農業者年金は老後生活をがっちりサポート

農業者年金のメリット

- 少子・高齢時代に強い積立方式の年金
- 終身年金で80歳までの保証付き！
- 支払った保険料は全額社会保険料控除！
- 手厚い政策支援！保険料に国庫補助も

～農業者の方なら広くご加入いただけます～

公的年金
ならではの
税制上の
優遇措置

一定の要件を満たす方に月額最高1万円。
通算すると最大で216万円

農業者年金の試算額

加入年齢	納付期間	性別	試算額	
			保険料2万円	保険料3万円
20歳	40年	男性	91万円	136万円
		女性	79万円	118万円
30歳	30年	男性	60万円	90万円
		女性	52万円	78万円
40歳	20年	男性	35万円	53万円
		女性	31万円	46万円
50歳	10年	男性	16万円	23万円
		女性	14万円	20万円

※この試算は、65歳までの付利率が2.30%、65歳以降の予定利率が1.55%となった場合の試算です。
付利率2.30%は農業者年金において期待される運用収益をもとに設定した率、予定利率1.55%は農林水産省告示(H21.4.1施行)により定められている率です。

保険料支払いによる節税効果の試算（所得税・住民税）

税率	保険料の額が		
	月額2万円 (年額24万円)の場合	月額5万円 (年額60万円)の場合	月額6.7万円 (年額80.4万円)の場合
15%の場合	36,000円	90,000円	120,600円
20%の場合	48,000円	120,000円	160,800円
30%の場合	72,000円	180,000円	241,200円

●各欄の金額が節税効果で、保険料支払い後も適用される税率に変動がないものとして試算しています。

老後の備えは、**農業者年金**で安心！

農業者年金

加入推進に向けて

加入推進部長 杉山 忠

平成23年度農業者年金加入推進部長特別研修会が宇都宮市コッセーレにて開催され会長以下加入推進部長2名で参加してきました。

まず、栃木県農業会議より農業者年金制度の説明及び県内外の推進と加入状況等について報告があり、その後、分科会にて今後の推進対応について話し合いがなされました。

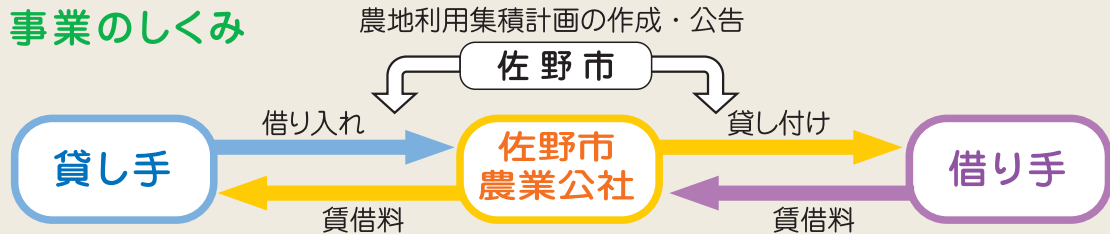
農業者年金は年間60日以上農業に従事できる方なら誰でも加入することができ、保険料は積立方式で積立額は契約加入時に加入者が自由に決められます。また、農業の担い手となる後継者には手厚い政策支援（保険料の国庫補助）が受けられます。老後生活や将来設計の支えにもなる農業者の年金です。

新規加入者獲得に向け、普及推進を図ってまいります。

農業公社ご利用のお願い

活かします、おまかせください あなたの農地

※佐野市全域（市街化区域除く）が対象地域です。



1 農地の貸借

貸し手のメリット

- ① 公社が「貸し借りの相手」となるので、安心して農地を任せられます。
- ② 手続きは公社が行うので、手間がかかりません。
- ③ 契約期間が終了すると公社が責任をもって農地をお返しします（更新もできます）。
- ④ 公社が賃借料を支払いますので、トラブルは起こりません。

借り手のメリット

- ① 契約した期間は安心して耕作できるので、中長期的な営農計画がたてられます。
- ② 公社が行うので、事務手続きが簡単です。
- ③ 農地をまとめて借り入れることができるので、効率的な農作業が行えます。
- ④ 公社に賃借料を支払いますので、トラブルは起こりません。

2 農地売買の仲介

農業経営基盤強化促進法に基づき、公社が農地売買の仲介をしますので、安心して農地の売り買いができます。また、農地を売った場合の所得税の譲渡所得額が800万円控除されます。

お問合せ先

財団法人 佐野市農業公社

佐野市金吹町2351 (JA 佐野本店3階) TEL.21-5489 FAX.21-5759

編集委員

島田 一男	新井 藤市	篠原 一世	編集委員長	副編集委員長	編集委員長
金子 博	夢沼 一弘	亀田 幸平	小堀 幸雄	桂 正次	

農業委員会だより第7号となります。農業委員改選後、初めての発行となる農業委員会だよりです。昨年は東日本大震災、原発事故、T P P問題等、農業にとって大きな問題が発生しました。農業委員会の活動にも影響を与えるものになりました。

また、昨年度発行しました農業委員会だよりが「全国農業新聞農業委員会だよりコンクール」において「全国農業新聞特別賞」を受賞したことを報告いたします。

農業委員会は、耕作放棄や鳥獣害被害等のさまざまな取り組みも行っております。今後ともご理解、ご協力をお願いいたします。

編集後記